

2019 年 11 月 22 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

日本電産株式会社のグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、日本電産株式会社が発行するグリーンボンド⁽¹⁾（総額 1,000 億円）の引受けにおいて事務主幹事および Green Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

本件グリーンボンドは適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として Sustainalytics からセカンドパーティ・オピニオンを取得しております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006 年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界の ESG⁽³⁾投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

回号	第 9 回	第 10 回	第 11 回
年限	3 年	5 年	7 年
社債総額	金 500 億円	金 300 億円	金 200 億円
利率	年 0.020%	年 0.090%	年 0.150%
取得格付	A A－株式会社格付投資情報センター		
資金使途	電気自動車向けトラクションモータの製造に関連する設備投資及び研究開発に係る支出		
Green Bond Structuring Agent	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社		
主幹事証券会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社、SMB C 日興証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社、JP モルガン証券株式会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社、SMB C 日興証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社、JP モルガン証券株式会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社、SMB C 日興証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社

- (1) 本件グリーンボンドは、国際資本市場協会（International Capital Market Association : ICMA）が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者
- (3) 環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉

以上